



おがさわら

議会だより

第 159 号



母島再生可能エネルギー100%実証事業開始式

目次

決算特別委員会……………	2
一般質問……………	4
議長出張報告……………	7
議案審議・委員会報告……………	8
編集後記……………	10

平成 30 年 12 月に東京都、小笠原村、東京電力パワーグリッド株式会社で協定締結し取り組まれてきた本事業、その事業開始式が去る8月29日に行われました。電力供給の方式は、日本初の取組みです。この成果によっては全国の離島での電力エネルギー事業に大きく寄与することになります。母島支所にて日々の電力供給量を見ることが出来ます。ゼロカーボンの取組み、防災力強化の視点からも大変大きな効果が期待できます。

池田 望

村長から提出された「令和6年度各会計決算」の審査を行うため、決算特別委員会を設置し、2日間にわたり審議をいたしました。その結果、以下の意見を付し、委員全員の賛成を受け、すべての決算を認定し、議長宛に報告書を提出しました。

令和6年度決算特別委員会 委員長報告

本委員会に付託された令和6年度各会計歳入歳出決算は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告いたします。

令和7年10月3日

令和6年度決算特別委員会委員長
平野 悠介

小笠原村議会議長 池田望 様

1 件 名

認定第1号令和6年度小笠原村一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計他4件の特別会計及び簡易水道事業会計他1件の地方公営企業会計歳入歳出決算につきましては、すべて認定すべきものと決定しました。

2 意 見

令和6年度決算は、経常収支比率、実質公債費比率ともに概ね良好である。来年度以降も小笠原小中学校改築工事等大きな予算を要する整備が予定されており、地方債の発行等財政運営においては、大変厳しさを増すことが想定される。村債の任意繰り上げ償還含め、慎重に計画的な財政運営に努められたい。地方公営企業会計となった初年度、現金主義から発生主義となったことによる処理に苦慮されていたところが見受けられたが、移行されたことにより、今後の水道事業の健全化を図っていくためにも、財政状況の明確化、適正な資産管理を行うことにより、安定した施策に寄与することを期待したい。

なお、個別具体的に指摘・要望のあった次の点について、必要な見直しをされたい。

- 1 新たな施設には類似施設を例に利用の実態に即した安全対策の確認と、設備の保護に努められたい。
- 2 物価高による建築費高騰は続いており、公共工事の入札不調については継続して対応されたい。
- 3 職員の確保については、人材育成の充実も含めて効率的な施策を検討されたい。

その他、本委員会での指摘事項、また監査委員の決算審査意見を踏まえて、なお一層効率的な行財政運営に努力されたい。

ひとこと



一般会計歳出総額約65億円の決算が成立しました。特別会計まで含めると約73億円もの規模になりました。小笠原振興開発特別措置法による振興開発費があるとはいえ、非常に大きな規模です。

これらの歳出決算は村民の皆様が収めた税金によって、様々な事業が実施された結果です。これらの事業での支出が村民の福祉の向上に寄与したか、事業の目的に則して

予算通りに正しく使われたか、我々議員はしっかりと見ていかなければなりません。

令和6年度は、小笠原小・中学校の体育館、母島子育て支援施設と大規模な建築工事が概ね完成を迎えました。令和7年度以降も小笠原小・中学校の建て替えという大きな案件が続きます。将来の子供たちのための支出が、子供たちの大きな負担にならないよう、慎重な審査に取り組んでいきます。

令和6年度決算特別委員会委員長 平野 悠介

『令和6年度決算特別委員会』質疑の一部を紹介します。

村税について

問 前年度より338万円減の要因は。 (清水)

答 令和6年度に実施された定額減税の影響のため。 (財政課長)

農道管理事業

問 整備予定場所において側溝蓋設置全て整備されていないが。 (平野)

答 老朽化しているところを側溝の整備等行い、安全対策を講じる。 (建設水道課長)

道路維持管理事業

問 沖村5号線道路拡張工事未執行の原因は。 (宮城)

答 入札参加者がなかったため、令和7年度実施決定している。 (母島支所長)

自然環境啓発事業

問 村民参加の森づくり事業約346万円、どのような取り組みを行っているか、その評価は。 (宮城)

答 この予算は、森のモニタリング、植生回復に向けた植生管理、村民参加型イベント等年3回森の手入れ等実施しており、目指している森に近い。 (環境課長)

中国船違法操業対策事業補助

問 どのような事業を行ったのか。 (宮城)

答 父島、母島においてパイ係留の設置を行った。 (産業観光課長)

生活排水処理事業

問 浄水場で処理された汚泥肥料調査の結果は。 (平野)

答 堆肥としての利用可能であると結果は出たが、実際の利用はまだない。 (建設水道課長)

地方公営企業会計

問 公営企業会計となったメリットは、また、中期的にどう考えているか。 (清水)

答 常に経営状況が把握できるところがメリット。インフラの維持のためには料金改定は必須。経営戦略ビジョンを策定する。 (建設水道課長)



決算特別委員会
アーカイブ

一般会計歳入・歳出決算

単位：円

予算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	繰越事業費 繰越財源	執行率%
7,406,688,370	6,771,163,196	6,523,638,248	157,051,562	90,473,386	88.1

特別会計歳入・歳出決算

単位：円

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	執行率%
国民健康保険特別会計	421,411,000	384,352,634	384,352,634	91.2
宅地造成事業特委別会計	65,564,000	65,561,608	65,561,608	100
介護保険(保険事業勘定)特別会計	103,638,000	92,061,101	92,061,101	88.8
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	212,209,000	178,735,959	178,735,959	84.2
後期高齢者医療特別会計	60,966,000	52,079,663	52,079,663	85.4
合計	863,788,000	772,790,965	772,790,965	93.4

地方公営企業会計歳入・歳出決算

単位：円

会計名	収入決算額	支出決算額	差引残額
簡易水道事業会計	539,942,597	516,489,489	23,453,108
生活排水処理事業会計	273,316,451	280,372,293	-7,055,842
合計	813,259,048	796,861,782	16,397,266

【一般質問一覧】

● 片股敬昌

1. 教職員の服務事故防止について

● 安藤重行

1. 防災対策に伴う訓練等について
2. 通学路の安全確保対策について

● 平野悠介

1. 村長所信について問う

● 清水良一

1. 母島太陽光発電実証事業について
2. 父島情報センターの太陽光発電の利用方法について

● 稲垣勇

1. 子育て世代への支援について

● 宮城ジャイアン

1. 母島保育園の現状と課題について
2. セグロウリミバエ侵入に対する島の対策、課題について
3. 防災津波対策と対応の課題について

教職員の服務事故防止の取り組みは

教育長…相談しやすい環境づくりに努めていく。

事故防止に向けた研修に全力を



片股 敬昌

- 問** 全国で教員の不祥事が発生しているが。
- 答** 学校、教職員全体の信用を失墜させる行為で極めて遺憾、許すことの出来ない行為。
- 問** 盗撮行為の処罰規定は。また、教員個人のスマートフォンの取り扱い。
- 答** 性暴力のような場合、懲戒免職。児童の撮影は学校備品のカメラに限っている。
- 問** どのような人に教員になって欲しいか。
- 答** 熱意と使命感、責任感を持った教員、離島教育に理解と意欲のある人に来て欲しい。
- 問** 性被害にあった子供たちの相談先、安心して話を聞いてくれる環境整備は。
- 答** 相談窓口のポスターを掲示している。校内での相談が難しい場合は教育委員会や第三者相談窓口へ。女子児童の場合は女性職員が対応。
- 問** 具体的な性被害があった場合は。
- 答** 学校、教育委員会、警察、第三者相談窓口など相談しやすい機関の選択を。
- 問** 医療機関を受診した際の費用負担は。
- 答** 18歳以下の医療費は無償。
- 問** 警察の事情聴取の際、被害女性の精神的負担を考え、女性警察官の配備を。
- 答** 小笠原には女性警察官が配備されており非常に心強く感じている。
- 問** 一部の教職員の服務事故が教育界全体に深刻な影響を与えている。研修の充実を。

防災での対策訓練を全島民参加が必要では！ 通学路の安全確保で生徒も島民も安心を提案！



安藤 重行

村長・・・村民皆様の日頃からの心構えや
緊急時の冷静な判断に感謝！

島民の安全・
安心を第一に！



交差点白線と路側帯

問 カムチャツカ半島沖地震の津波で細部に渡る課題が見つかりその教訓を生かし、村民の協力し認識を共有する取組が重要では。今回の避難に際してのアンケートや意見を聴取しておくことが、村と村民の認識の隔たりを無くし共通認識のもと防災対策に取組むことが重要なので提案する。

答 高台避難が第一で対応。初めての避難所もあり様々な課題が見つかった。点検等作業確認を再検討。避難所の受入れがスムーズに出来るようにし、避難所対応する職員の不届がわかった為応援を依頼。早急な避難所開設、責任者の役割の明確化。交通整理員の訓練、物品の点検などの見直し。受付時間短縮システムの導入。情報収集のTVやWi-Fi環境の検討を強化。また、今回島民の方々の迅速な対応・援助をいただいたことに感謝している。

問 通学路の平和の鐘の鎖を取外し安全対策の取組み以外にも、路側帯に赤い防護杭の設置の実現ができないか提案。裏路の十字路では停止線がない方は車が停まらず、事故が起きてるので白線を引き対策を。

答 交通ルールの遵守の意識向上が必要。関係機関と協議し、白線も検討する。通学路については意識を高く持ち続け、子供達が安心して通学できる環境を守っていききたい。

津波に備えた父島保育園の計画が必要

村長・・・中学校跡地の利用も含め再検討。

津波災害に強い島
づくりが大切



平野 悠介

その他の
質問

▶職員不足の中、記念事業の進め方
について

問 7月30日のカムチャツカ半島沖地震の津波警報では、避難指示の防災無線発信までの時間が遅いと指摘があるが、村の見解は。

答 村では直ちに災害対策会議を開催し、津波到着予定時刻など各情報を収集し、避難所の開設等を決定の上で防災行政無線広報。いち早い発信に努める。

問 避難所の配置職員数の偏りや、避難所滞在時における備品が不足。Wi-Fiなど情報インフラも必要。対応は。

答 各避難所開設時の増員、都職員に出動要請など見直し。避難所物品も不足品の配備等を実施。情報インフラ設備の差も解消に努め、Wi-Fi環境も整備。

問 避難所での空調は、熱中症対策として必要だが、冷房整備について村の考えは。

答 新たな設備の導入は困難。他の避難所へ移っていたくなどの対応としたい。

問 プロパン庫の高台移転の状況は。

答 父島のプロパン庫は高台移転用地に目途。

問 在宅避難の備えとしてホームサバイバルトライアルがある。周知広報しては。

答 良い提案であるので今後勉強する。

問 父島保育園の計画策定に関して、中学校跡地の活用を含めて検討すべきでは。

答 中学校跡地も父島保育園の移転候補先ではあるが、運営体制等も含め再検討する。

①母島太陽光発電実証事業について

②父島太陽光発電(情報センター、扇浦交流センター)について

環境課長…母島の1ヶ月の電気使用量27万kwhの半分程度の電力供給を目標とする。

村長……父島では新たな技術や民間への啓蒙活動をもとに自立分散型の電力供給を目指す。



清水 良一

島民一丸となって減らす、HTTのチャレンジを！

問 8月29日に母島太陽光発電実証事業の開始式が行われた。この事業を成功させるには島民の理解が必要①この施設の能力は？
②現在の発電実績は？**③**蓄電池の充電状況は？**④**耐用年数と管理体制は？**⑤**民間のソーラーパネル余剰電力を買い上げてもらえるのか？**⑥**父島での方針は？

答 ①母島の電力需要の半分程度②供給量は5割を上回る。③9月は満充電になったことはない。④15年から20年、東京電力パワーグリッド(株)が責任を持って運用管理すると認識。⑤連携可能量は現時点でゼロ、今後検討。⑥父島では大規模な施設は困難、自立分散型の電力供給構築が必要。

問 現在父島で自立分散型の蓄電池を使った施設として、⑦情報センター⑧扇浦交流センターがあるがその状況は？

答 ⑦5.5kwhのパネルと6.5kwhのバッテリー2基を設置、停電時でも電灯、通信機器等の使用を想定。⑧10kwhのパネルを系統に繋げることはできない、今後は無駄なく使えるよう技術的に検討。



クールネット東京HTT
太陽光発電設備の助
成事業はこちら

子育て世代への支援について

村長…議長と一緒に都庁で要望してきた。
早期の回答を引き続き求めていく。

島の住宅不足、
何とかしたい！



稲垣 勇

問 母島では民間の賃貸住宅で子育てをしている世代がある。母島で住み続け子育てをしていきたいがワンルームで狭い。都営住宅の空きがあるにも関わらず、入居出来ない現実だ。島民の安心安全な生活を守る行政の長である村長は、東京都へどのような働きをしてきたか伺う。

答 7月29日に議長と一緒に東京都住宅政策本部長を訪問し、小笠原住宅の早期の公募再開に向けた要望をしてきた。その中で小笠原住宅への入居を希望する子育て世代が民間のアパートに住んでいる実態も本部長に伝えてきた。現在その回答を待っている状態である。東京都住宅政策本部には早期の回答を引き続き求めていく。

問 以前にも母島で子育てをし、住み続けたいが都営住宅の空きがあるがなかなか話が進まないため、内地の知人を頼って島を離れていった方もいる。こういうことが繰り返していくことは島民としても耐えられない。何としてもこういうことを変えていく必要がある。議員として村長と共に東京都へ働きかけていきたい。



①母島保育園の現状と課題について

②セグロウミバエ対策 ③津波避難について！



- ①村民課長……………人員不足で体制変更。
- ②産業観光課長…関係機関で対応する。
- ③総務課長……………1月に新村民会館が完成。
情報交換する。

住民の声を届け、
島の課題を解決！
みんなで困難を
乗り越えよう！



宮城 ジャイアン

- 問** ① どのような状況か？ 急な説明会で保護者が困惑。登録制で支える仕組みは構築できないか？ 人員不足時、緊急避難の体制は？ 今後この体制が続くのか？ 村長の説明会の発言について一言。
- 答** 人員不足で契約児以外が16時帰りから12時半帰りに縮小。地域の人材を活かすなど検討する。避難は支援を呼びかける。体制は来年3月までの予定。説明会でのことはお詫びする。
- 問** ② 沖縄本島で発生 of ミバエ。農作物が出荷停止になっている。どう考えているか？ 小笠原侵入の場合は？ 父島が検疫港となり外国船が直接入港可に。沖縄経由の船への対応は？ 関係者で話合つて欲しい。
- 答** 小笠原に侵入した場合は重大。早期発見・対応を支える。村民だよりで広報。沖縄経由の外国船には注意喚起を実施。
- 問** ③ 7月末の津波避難で沢山の課題発見。長期避難時の要介護者の対応は？ ペットの避難は？ 関係者を集めた災害対策会議が必要では？ 自助、共助、公助が大切と思うが？
- 答** 避難要支援者、関係機関と協力していく。ネコはネコ待ちで預かれる。関係者で話し合いや情報交換をしていく。今後とも理解と協力をお願いする。

議長出張報告



出張日	出張用務
7/17	硫黄島戦没者遺骨引渡式参列 東京都島しょ町村議会議長会第1回臨時総会出席
7/18	全国離島振興市町村議会議長会総会・研修会出席
7/25	東京都島しょ議長会要望活動（東海汽船株式会社） 第14回東京都航空路協議会出席
7/26～27	愛らんどリーグ2025八丈島大会出席
7/29	東京都小笠原住宅に関する要望（東京都住宅政策本部長）
7/30	「基地交付金」に関する要望活動（総務省） 「特定防衛施設周辺整備調整交付金」に関する要望活動（防衛省）
7/31	令和7年度硫黄島訪島事業出席

第14回小笠原航空路協議会に委員として出席いたしました。東京都からは、小笠原へ飛行可能が見込まれていた2機体のうち、ATR42-600Sの開発が中止となり、AW609のみ1機体の型式承認待ちであること、今年度も航空機等調査、空港計画調査、環境調査等の取組みを引き続き行っていくと説明がありました。村民の皆様へ具体的な内容としてお示し出来ておりませんが、村議会としても早期開設に向け少しずつでも前に進むため、全議員一丸となって取り組んでまいります。

硫黄島戦没者遺骨引渡式に参列させていただき、23柱のご遺骨が千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納められました。

議長 池田 望



硫黄島戦没者遺骨引渡式



小笠原航空路協議会



東京都島しょ議長会要望

令和7年第3回定例会議案等審議（開会日：9月12日、26日、10月3日）

【全議案等、賛成多数で承認、可決されました。】

- 令和6年度小笠原村各会計歳入歳出決算全8件の認定について
- 小笠原村副村長の選任の同意について
- 令和6年度小笠原村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 出資法人の経営状況について
- 延滞利息金の支払いについて（専決処分）
- 小笠原村義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 小笠原村高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 小笠原村村民会館条例の一部を改正する条例
- 小笠原村母島保育所条例の一部を改正する条例
- 蝙蝠谷農業団地条例の一部を改正する条例
- 小笠原村村税条例等の一部を改正する条例
- 令和7年度小笠原村一般会計補正予算(第2号)他補正予算4件
- 財産の取得（歯科用X線診断装置）について
- 小笠原村議会議員の請負の状況の公表に関する条例
- 議員の派遣について

小笠原村副村長の選任

金子 隆（56歳）

※年齢は選任日現在



略 歴

平成28年4月

一社）小笠原村観光協会副会長

令和元年5月 小笠原村議会議員

総務委員会副委員長

令和3年9月 小笠原村副村長

総務委員会 9月26日

片股敬昌 委員長 平野悠介 副委員長

ひとこと



愛玩動物の持ち込み制限や持ち込んで良いペット等が審議されることになった。

アカガシラカラスバト保護のため、ノネコの完全排除に、またオガサワラカワラヒワ全滅回避にさらに取組む。母島静沢分譲地の測量、造成設計を委託する入札が行われた。父島小曲地区の土地売買契約を締結した。村の人口減少、子育て支援に対処するため東京都小笠原住宅の早期募集再開を村長・議長が東京都に要望の報告がされた。

小笠原諸島世界自然遺産関連

8月26日 小笠原諸島世界自然遺産地域連絡会議（第1回）

9月5日 小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会（第1回）

○村民向け普及啓発事業

9月27日 オガグワの森昆虫観察会

○母島北部のノネコ対策事業

母島石門周辺におけるノネコ対策事業令和7年度から3年間実施予定。

○ネコプロジェクト20周年記念事業

9月8日からポスター展開催
会場：世界自然遺産センター

○オガサワラカワラヒワの巣立ち成功

恩賜上野動物園で2羽、父島の2施設で4羽のヒナが巣立ちに成功。

令和8年度東京都予算編成に対する要望

令和8年度東京都予算編成に対する小笠原村の要望事項の概要について報告があった。

令和8年度小笠原諸島振興開発事業の概算要求

令和8年度小笠原諸島振興開発事業概算の要求内容について報告があった。

住宅政策

母島静沢分譲地、父島小曲地区、村長の要望活動についての報告・質疑が行われた。

ひとこと



遺骨収集帰還事業では旧島民の方々などが灼熱の中を苦勞し、これまでに約1万柱を収骨してきた。難題の多い現状での作業が続いている。噴火や地盤が隆起しているため作業を止めることもある。潜水器具使用の救難活動訓練や掃海訓練等多くの訓練が実施されている。関係機関の皆様のご努力に感謝し、今後も委員会で様々な課題を注視して行きます。

遺骨収集帰還事業について

第1回目：7月3日～16日（実施）

収容柱数 23 柱

第2回目：10月17日～28日

（噴火の影響により中止）

訓練について

- ・HRS訓練（6、8月に計5日間）
- ・潜水訓練（6、8月に計2日間）
- ・掃海訓練（6月10日～19日実施）
- ・LCAC（エアークッション艇）訓練（7月8日～11日実施）
- ・米海兵隊高機動ロケット砲（ハイマース）展開・通信訓練（6月6日実施）

その他

- 硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業（年6回実施予定）

第2回：7月16日～21日（実施）

第3回：10月28日～11月2日

（噴火の影響により中止）

- 硫黄島3島クルーズ

6月14日～15日（実施）71名（旧島民18名、村民53名） 村立中学2年生19名参加。

洋上慰霊祭実施。硫黄島調査特別委員会正副委員長出席。

- 交付金要望活動

・基地交付金要望 提出先：総務大臣

・特定防衛施設周辺整備調整交付金

提出先：防衛省地方協力局長、

防衛省北関東防衛局長

ひとこと



AW609の米国での型式証明が2025年内に取得見込みとの報告がありました。米国での型式証明が取れば次は日本での取得となり、国内導入の現実味が帯びてきました。型式証明で正式な仕様が公開になりますので、小笠原での運用も精査されていくことになります。村議会では、村民悲願の小笠原航空路の開設に向けて今後も取り組みます。

第14回小笠原航空路協議会

小笠原航空路に係る令和6年度調査結果、検討状況及び令和7年度調査事項

小笠原航空路協議会の議事・資料は、東京都総務局行政部ホームページをご覧ください。



「小笠原村議会議員の請負の状況の公表に関する条例」の制定を本会議に提案することを決定。「議員報酬改正」については、本委員会において継続調査することを決定しました。

令和7年第4回定例会会議日程表（予定）

月日	開始時間	会議名	内容
12月15日（月）	午前10時	本会議	会期の決定等、一般質問
12月16日（火）	午前 9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後 2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議

現時点での会議予定です。会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。

● 議会映像の配信について

TV 11チャンネルで中継放送、Youtube でライブ配信を行います。
過去の議会録画中継は、アーカイブ配信しています。

【小笠原村公式チャンネル】

URL：<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>



議会映像配信

会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

次の施設で閲覧できます。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 村役場母島支所
- 母島村民図書室

また、パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト → 議会事務局 → 会議録で 検 索



会議録

編 集 後 記

今定例会では令和6年度決算が認定されました。小中学校体育館や母島保育施設など、子供たちのための大規模な施設が造られ、次世代の子供たちを受け入れる準備が進んでいます。一方で、子供を連れた世帯が安心して入居できる都営小笠原住宅の全面的な公募再開には至っていません。民間の住宅事情の厳しい小笠原では、居住空間の制限でご苦勞をなさっているご家庭は多いことと思います。

総務委員会では、村長・議長が東京都住宅政策本部に赴き、公募再開の要望を行っていることが報告されました。公募再開への期待が否応なしに高まります。小笠原村議会としても今後の公募再開の動向を注視し、一刻も早い公募再開を求めていく必要があります。

過去、多くの村民の希望であった都営小笠原住宅、この希望の火が再び灯る事を願っています。

平野 悠介

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp